

田んぼの学校「稲の生育調査・生きもの調査」を実施しました。

令和元年7月5日（金）に新地町立駒ヶ嶺小学校の5年生25人が、5月に田植えをした稲の生育調査と、田んぼの周りの生きもの調査を行いました。

稲の生育調査では、学習田の稲の茎数を数え周りの田んぼと比べてみた結果、ほぼ同数で順調に成長していることを確認しました。

田んぼの周りの生きもの調査では、生きものを捕まえる際に始めは慎重に水際を歩いていた児童でしたが、終盤は長靴に水が入ることもいとわず、積極的に網を伸ばし生きものを捕まえていました。

その後、アクアマリンふくしまの講師から、カエル、ドジョウ、サワガニなど捕まえた生きものの生態、特性等を教えてもらい、児童は熱心に耳を傾け身近な環境と生きものに関心を高めているようでした。



学習田で稲の生育を調査しました。



生きものについて教えてもらいました。

【田んぼの学校とは】

田んぼの学校は、古くから農業の営みの中で形作られてきた水田や水路等を学びの場として活用し、体験活動を通して子どもたちに「農業・農村地域の大切さ」「環境の大切さ」「食・命の大切さ」についての理解を深め、豊かな感性と深い見識を持ってもらうことを目的として実施しています。